

「健康なかつわ21（第二次）」計画の進捗状況

※現状値に○がついた項目は計画策定時より改善したものの赤字はH29年度新規事業

分野	項目	策定時項目	現状値項目	目標値項目	平成29年度 健康づくり事業の主な取り組み				
がん	①75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)	80.2	H22年	74.8	H27年	73.9	H29年	①発症予防 ・肝炎ウイルス検査費用の公費助成(40歳と45.50.55.60歳で初めて受ける方) ②がん検診受診率の向上 ・がん検診手帳の配布と無料検診の実施 子宮頸がん検診 20歳 乳がん検診 40歳 ・大腸がん無料検診の実施(40~69歳) ・日曜日検診(4回)、土曜日検診(1回)の実施 ・がん検診と特定健康診査の同時実施(17回) ・検診時に託児の実施 ・国民保険加入者への受診勧奨 ・生命保険会社、全国健康保険協会と協働し、がん検診受診勧奨のリーフレット配布 ③重症化予防 ・精密検査対象者に対する受診勧奨 (注)がん検診受診率の算出方法が平成28年度より変更され、対象者数は対象年齢の全住民(人口割)とする	
	②がん検診の受診率の向上								
	・胃がん(40-69歳)	H23人口割 男性 4.7% 女性 8.2%	男性 8.3% 女性 9.6%	男性 4.7% 女性 7.5%					
	・肺がん(40-69歳)	男性 6.4% 女性 14.6%	男性 16.6% 女性 24.8%	男性 5.5% 女性 10.9%					
	・大腸がん(40-69歳)	男性 3.8% 女性 7.3%	男性 9.7% 女性 12.4%	男性 3.4% 女性 6.6%	H23年度	H28年度	50% (胃がん、 肺がん、 大腸がんは 当面40%)		H29年度
	・子宮がん(20-69歳)	女性 18.4%	35.4%	15.6%					
	・乳がん(40-69歳)		39.7%	21.0%					
生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	①脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)							①特定健診未受診者対策 ・訪問等による受診勧奨 ・コールセンターを活用した電話による受診勧奨 ・健康推進員を対象に健診に関する知識の普及啓発 ②発症予防 ・健診受診者の要指導者に対する生活習慣改善への支援の実施 ・内臓脂肪症候群該当者や予備群に対する特定保健指導の実施 ・健診受診者の要指導者に対する二次検査の実施 ・食・運動体験教室の実施 ・「地域で広める高血圧予防」として、苗木地区で講座を実施 (平成28年度は加子母地区で実施) ③重症化予防 ・重度の高血圧者に対する医療機関への受診勧奨及び継続受診の勧め ・治療中断者に対し治療継続の勧め ・本人の希望に応じて保健指導、栄養指導を実施を締結 ④全国健康保険協会と協働し、受診勧奨リーフレットを市内小中学校に配布	
	・脳血管疾患	男性 51.3 女性 28.0	H22年	男性 38.2 女性 22.3	H27年	男性 41.6 女性 24.7	H34年		
	・虚血性心疾患 (急性心筋梗塞)	男性 22.0 女性 8.7		男性 22.9 女性 6.8		減少			
	②高血圧の割合の減少(140/90mmHg以上の人の割合)	男性 31.6% 女性 29.4%	H23年度	男性 24.3% 女性 17.6%	H28年度	減少	H34年度		
	③脂質異常症の減少 (LDLコレステロール160 mg/dl以上の人の割合)	男性 9.2% 女性 15.3%		男性 7.8% 女性 14.6%		男性 6.2% 女性 8.8%			
	④メタボリックシンドローム予備群・該当者の減少	予備群・該当者1,067人 (20.8%)		1,128人 (22.7%)		減少	H29年度		
	⑤特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上		H23年度 (法定報告)		H27年度 (法定報告)				
	・特定健康診査の実施率	36.1%		37.6%		60%	H29年度		
・特定保健指導の終了率	51.8%		69.3%		60%				
糖尿病	①糖尿病有病者の増加の抑制 (服薬中またはHbA1c6.1%(NGSP値6.5%)以上の人の割合)	8.9%		8.5%		減少		①特定健診未受診者対策 ・訪問等による受診勧奨 ・コールセンターを利用した電話による受診勧奨 ・健康推進員を対象に健診に関する知識の普及啓発 ②発症予防 ・健診受診者の要指導者に対する生活習慣改善への支援の実施 ・内臓脂肪症候群該当者や予備群に対する特定保健指導の実施 ・健診受診者の要指導者に対する二次検査の実施 ・食・運動体験教室、適糖生活セミナーの実施 ③重症化予防 ・糖尿病性腎症重症化予防プログラムの実施 ・治療中断者やHbA1c6.5%以上で未治療の者に対し治療の勧め ・治療中の希望者については医師の指示のもと、管理栄養士による栄養指導を実施	
	②治療継続者の割合の増加 (前年度 当該年度共に服薬ありと回答した人の割合)	84.0%	H23年度	87.6%	H28年度	現状維持	H34年度		
	③血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少 (HbA1cがJDS値8.0%(NGSP値8.4%)以上の人の割合)	0.4%		0.6%		現状維持			

	分野	項目	策定時項目		現状値項目		目標値項目		平成29年度 健康づくり事業の主な取り組み
生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	慢性腎臓病	①糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数の減少	9人	H23年	5人	H28年	減少	H34年度	<ul style="list-style-type: none"> ①発症予防 <ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健診における将来の生活習慣病ハイリスク者に対する産後フォローの実施(定期健診のすすめ) ・健診受診者の要指導者に対する生活習慣改善への支援の実施 ・健診受診者の要指導者に対する二次検査の実施 ②重症化予防 <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症重症化予防プログラムの実施 ・腎機能低下の原因となる糖尿病、高血圧、高尿酸等の改善のため、腎機能低下者に対する食生活改善指導や必要に応じて受診勧奨
		<ul style="list-style-type: none"> ①適正体重を維持している人の増加(肥満(BMI25以上)、やせ(BMI18.5未満)の減少) ・20歳代女性のやせの人の割合の減少(妊娠前にやせの人の割合) ・全出生数中の低出生体重児の割合の減少 ・肥満傾向にある子どもの割合の減少(小学5年生の中等度・高等度肥満傾向児の割合) ・30～60歳代男性の肥満者の割合の減少 ・40～60歳代女性の肥満者の割合の減少 ・低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の減少 ②朝食欠食者の減少 ③朝食共食者の増加(食事を1人で食べる子どもの割合の減少) 							
ライフステージごとの健康に関する生活習慣の改善	栄養・食生活	①運動習慣者の割合の増加							<ul style="list-style-type: none"> ①糖尿病の発症予防を目的とした運動教室を継続実施 ②水中運動教室を継続実施 ③特定健診受診者に運動教室の勧奨 ④健康推進員と歩こう！ウォーキングの継続実施 ⑤生涯学習スポーツ課と連携し、ウォーキングコースの設定(阿木・落合・川上・付知) ⑥出前講座で介護予防についての知識を普及 ⑦市ホームページ「健康なび」上で運動イベントの情報発信(軽スポーツ・ウォーキング大会など)
		・30～64歳	男性 29.9% 女性 23.3%	H23年度	男性 30.7% 女性 23.1%	H28年度	男性 36% 女性 33%	H34年度	
		・65歳以上	男性 46.8% 女性 45.8%	H23年度	男性 44.1% 女性 42.1%	H28年度	男性 58% 女性 48%	H34年度	
		②介護保険サービス利用者の増加の抑制	3,207人(13.8%)	H22年度	3,992人(16.0%)	H28年度	4,666人(18.7%)	H37年度	
	身体機能の維持・向上								<ul style="list-style-type: none"> * ()内は介護保険第1号被保険者 サービス利用率

分野	項目	策定時項目		現状値項目		目標値項目		平成29年度 健康づくり事業の主な取り組み	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性		
ライフステージごとの健康に関する生活習慣の改善	飲酒	①生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合の減少 (一日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の人の割合)	12.7%	H23年度	12.4%	H28年度	10.0%	H34年度	①ハイリスク者へのはたらきかけ ・酒害者回復クラブ、アルコール相談の実施(月1回) ②適正飲酒の推進 ・健診受診者への個別指導、健康まつり等での普及啓発
		②妊娠中の飲酒をなくす	6.3%		7.0%		5.0%		
	喫煙	①成人の喫煙率の低下	12.1%	H23年度	11.9%	H28年度	10%	H34年度	①禁煙支援の推進 ・禁煙電話相談(月1回)、個別支援(随時) ②受動喫煙防止対策の推進 ・市内382か所の公共施設に受動喫煙防止啓発ポスターを掲示予定 (ポスターは市内小中学生より募集) ・自治会集会施設(355施設)に受動喫煙防止対策状況調査アンケートを実施し、結果報告及び建物内禁煙ポスターとたばこリーフレットを配布
		②妊娠中の喫煙をなくす	4.6%		0.66%		0%		
	歯・口腔の健康	①歯の喪失防止		H23年度		H28年度		H34年度	① 歯科保健知識の普及啓発とセルフケア能力の向上支援 ・出前講座、教室等での歯周病予防、口腔機能維持、向上教育の実施 ・妊婦教室、児の相談事業での、保護者への個別指導の実施 ・市立図書館で歯と口腔の健康づくり啓発資料を展示 ・市議会議員と市執行部等の職員が参加した「けんばち弁当屋食会」時に、歯周病予防の講話、展示及び議員の方の口腔内細菌観察を行うことで、歯と口腔の健康づくりをPR ② むし歯ハイリスク児への支援 ・管理栄養士、保健師と連携した個別指導の実施 ③ 学童期から将来へ向けた歯周病予防の知識、技術習得の支援 ・年齢に応じた歯科保健指導とはみがき実習の実施 ・学校保健と連携した歯ミグ30の普及 ④ フッ化物応用の推進 ・幼稚園、保育園でのフッ化物塗布の継続実施
		・60歳で24歯以上の歯を有する人の割合の増加	69.7%		88.6%		80%以上		
		・40歳で喪失歯のない人の割合の増加	89.7%		88.7%		90%以上		
		②歯周病を有する人の割合の減少							
		・20歳代における歯肉に炎症所見を有する人の割合の減少	42.7%		48.6%		25%		
		・40歳代における進行した歯周炎を有する人の割合の減少	32.6%		69.4%		25%		
・60歳代における進行した歯周炎を有する人の割合の減少		59.0%	74.7%		45%以下				
③幼児・学齢期のむし歯のない子の増加									
こころの健康	①自殺者数の減少 (人口10万人当たり)	19.8	H22年	17.3	H28年	減少	H34年	①自殺に関する知識の普及啓発 ・窓口担当者会議の実施 ・こころの健康についての講話、イベント等での普及啓発を実施	
	・3歳児でむし歯のない子の割合の増加	88.9%	H23年度	94.0%		90%以上	H34年度		
健康づくりの取り組みの連携強化 関係機関・団体と	市民団体と	①健康推進員活動	実施		実施	実施継続		①地域住民と共に健康づくり活動の実施 ②地域への健康情報の回覧、集会所の受動喫煙防止対策を実施 ③健康推進員と歩こう！ウォーキングの継続実施 (坂本・福岡地区に加え、加子母・蛭川地区で開催)	
	と関係機関	①連絡会議の開催	実施	H23年度	実施	H28年度	実施継続	H34年度	①健康づくり推進協議会、食育推進会議、CKD及び糖尿病予防連絡会議、地域職域連携実務者会議の開催 ②全国健康保険協会等の健診結果提供により、これまで以上に市民の健康状況の把握が可能となり、課題が明らかになってきた ③全国健康保険協会と庁舎内関係部署との連携会議開催
	健康情報の提供	①健康情報の提供	実施		実施		実施継続		①市ホームページ上の健康づくりのページ「健康なび」を充実 イベント情報など掲載 ②健康づくり取り組み隊の募集・市ホームページで情報提供 ③けんばちポロシャツの販売を、NPO法人中津川市体育協会が実施することにより、健康づくりに取り組むきっかけづくりを広く市民にPR ④中央公民館で「8万人のヘルスアップ」情報を継続して展示 ⑤けんばち活用事例チラシを市民に配布
	・12歳児の一人平均むし歯数の減少	0.65歯	H23年度	0.41歯		0.5歯以下	H34年度		